

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年11月5日 17時00分ごろ
発生場所	千葉県館山市 ^{すの} 洲崎南方沖 洲崎灯台から真方位178° 1,600m付近 (概位 北緯34° 57.6′ 東経139° 45.5′)
事故の概要	プレジャーボート ^{マクラーレン} McLarenは、漂流中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年11月7日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート McLaren、5トン未満（長さ6.86m）
船舶番号、船舶所有者等	241-11493千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	船底に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風速 約5m/s、視程 約10km 海象：波高 約1m
事故の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、知人1人を乗せ、千葉県銚子市を出発して神奈川県横浜市に向けて航行中、洲崎南方沖で船内外機が停止した。</p> <p>船長は、船内外機を始動することができず、118番に本事故の発生を通報した。</p> <p>本船は、漂流状態となって館山市川名漁港付近の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、船内外機の冷却水が漏えいし、船内外機が停止したと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、船内外機が停止して始動できなくなったことから、漂流状態となって川名漁港付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船内外機は、冷却水が漏えいし、燃焼室が過熱状態となり、停止した可能性があると考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本事故は、本船が、船内外機が停止して始動できなくなったため、漂流状態となって川名漁港付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船内外機の発航前点検を確実に実施すること。 ・航行中に機関が停止した際は、投錨して圧流に備えること。